

味の素冷凍食品（株）環境負荷低減に貢献

令和5年度海運モーダルシフト優良事業者として海運局長表彰受賞

～味の素冷凍食品（株）とF-LINE（株）の協働によりCO2削減～

味の素冷凍食品株式会社は、このたびF-LINE株式会社（以下、F-LINE社）とともに、エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会が選出する令和5年度エコシップマーク認定事業者に選定され、2024年5月30日（木）に海運クラブホールにて国土交通省が開催した贈賞式で、令和5年度の「海事局長表彰」を受賞しました。

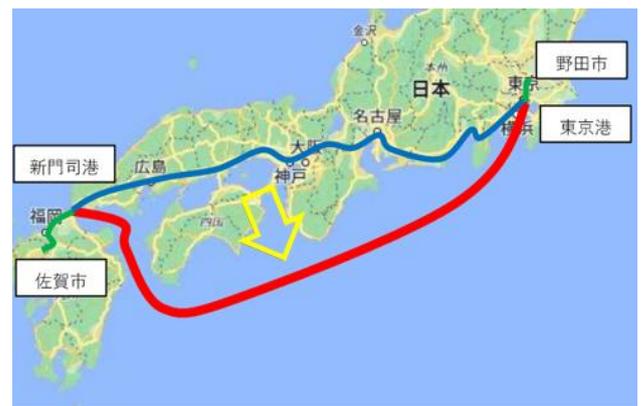
近年CO2削減の取り組みに加え、物流業界における2024年問題への対応など、海上輸送へのモーダルシフトが果たす社会的役割は年々大きくなっています。

国土交通省では、貨物運送における海運の利用促進が、輸送の効率化や環境負荷の低減などに資するとし、モーダルシフトを積極的に推進した荷主企業及び物流事業者に対して、エコシップマークの使用を認め、海上貨物輸送へのモーダルシフトの推進をしています。



当社執行役員 ロジスティクス部長 飯島賢次（前列中央）

F-LINE社マルチモーダルサービスセンターマネージャー 江藤正明氏（同右から2番目）



（青線）陸送輸送ルート

（赤線）海運モーダルシフト輸送ルート



エコシップマーク®

取り組み内容

F-LINE社では、500km以上の長距離区間は、輸送手段として船舶や鉄道を利用しており、海上輸送においては、フェリー、RORO船を活用したトレーラーによる輸送を主たる手段とし、個々の輸送ルートごとに最適な航路を選定しています。当社では、九州工場から関東の在庫拠点への製品移動（約1,200km）に船舶輸送を導入するなどモーダルシフトを推進し、陸路、鉄道、海上輸送の複線化を行い、安定した商品供給を図っています。これにより、すべてが陸上輸送の場合のCO2排出量1,546t/年に対し、一部に海上輸送を取り込むことにより、CO2排出量は1,293t/年（-253t）となり、16.3%のCO2削減が見込まれます。

今後も当社は持続可能な社会の実現に貢献するために、地球環境と調和した企業活動の継続的改善に努め、環境負荷低減の取り組みを行うと同時に、お客様の健康で豊かな食生活のために、安全・安心でおいしいものづくりを基本とし、健康維持・促進につながる取り組みを行ってまいります。